

令和7年度全国学力・学習状況調査

小美玉市の分析結果と課題について



小美玉市教育委員会

令和7年度全国学力・学習状況調査について(概要)

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査を対象とする児童生徒

【小学校調査】小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年

【中学校調査】中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年

(3) 調査事項及び手法

① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

〔小学校調査：国語、算数及び理科 中学校調査：国語、数学及び理科〕

※1：身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

※2：知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

イ 質問調査〔児童質問調査、生徒質問調査〕

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査を、児童生徒の活用するICT端末等を用いたCBTで実施。

② 学校質問調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査をオンラインによる回答方式で実施。

(4) 調査の方式

悉皆調査(全員対象)

(5) 調査実施日等

小学校調査及び中学校調査の教科に関する調査は、令和7年4月17日(木)とする。ただし、中学校理科の調査実施日は、4月14日(月)から4月17日(木)までの間で、各学校の希望を踏まえて文部科学省が指定する日とする。また、児童質問調査の調査実施日は、4月18日(金)から4月30日(水)までの間で、各学校の希望を踏まえて文部科学省が指定する日とする。生徒質問調査の調査実施日は、理科の調査実施日と同一とする。

調査結果の分析と改善について

本市児童生徒の学力や学習状況について、成果が見られるところと課題が見られるところについて、その一部を本冊子にまとめています。

課題が見られるところについては、小美玉市学力向上対策委員会で作成した「令和7年度 学習指導の改善と充実に向けて」を市内小・中・義務教育学校の全職員に配布し、それに基づき、指導にあたっています。

なお、調査結果については、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどに留意が必要です。

令和7年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状（成果と課題）」

【小学校・国語】

○…成果が見られる内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

内容	設問番号	設問の概要（趣旨）
話すこと・聞くこと	1ー	○【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する（目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる）
話すこと・聞くこと	1三（1）	○【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部アのように発言した目的として適切なものを選択する（自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる）
書くこと	2二	山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する（図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる）
書くこと	2三	○【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く（目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる）
知識・技能	2四イ	▲【ちらし】の下線部イを、漢字を使って書き直す（あつい日）（学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる）
知識・技能	3ー	○【資料1】を読んで思い出した【木村さんの経験】を通して、木村さんが気付いたこととして適切なものを選択する（時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかをみる）

【中学校・国語】

○…成果が見られる内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

領域	設問番号	設問の概要（趣旨）
書くこと	1二	○ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したものとして適切なものを選択する（目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる）
話すこと・聞くこと	2四	▲発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書く（資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる）
読むこと	3二	○「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く（文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる）
知識・技能	3三	○「しきりと」の意味として適切なものを選択する（事象や行為を表す語彙について理解しているかどうかをみる）
読むこと	3四	▲「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそのように考えた理由を書く（文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる）
書くこと	4ー	▲手紙の下書きを見直し、誤って書かれている漢字を見付けて修正する（読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる）

令和7年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状（成果と課題）」

【小学校・算数】

○…成果が見られる内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

領域	設問番号	設問の概要（趣旨）
数と計算	1(1)	2022年の全国のブロッコリーの出荷量が2002年の全国のブロッコリーの出荷量の約何倍かを、棒グラフから読み取って選ぶ（棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる）
データの活用	1(3)	示された表から、「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」の出荷量が多い都道府県を選ぶ（簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができるかどうかをみる）
数と計算	3(1)	0.4+0.05について、整数の加法で考えときの共通する単位を書く（小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることができるかどうかをみる）
数と計算	3(2)	$3/4+2/3$ について、共通する単位分数と、 $3/4$ と $2/3$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く（分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる）
数と計算	3(3)	数直線上に示された数を分数で書く（数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみる）
変化と関係	4(4)	10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ（「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる）

【中学校・数学】

○…成果が見られる内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

領域	設問番号	設問の概要（趣旨）
数と式	1	1から9までの数の中から素数を全て選ぶ（素数の意味を理解しているかどうかをみる）
図形	3	$\triangle ABC$ において、 $\angle A$ の大きさが 50° のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める（多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる）
数と式	6(3)	連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する（目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる）
関数	8(2)	A駅から60.0km地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する（事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる）
図形	9(2)	平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上に $BE=DF$ となる点E、Fを取っても、四角形AECFは平行四辺形となることの証明を完成する（統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる）
図形	9(3)	平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線上に $BE=DF$ となる点E、Fを取り、辺ABと線分FCの交点をG、辺DCと線分AEの交点をHとしたとき、四角形AGCHが平行四辺形になることを証明する（ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる）

令和7年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状（成果と課題）」

【小学校・理科】

○…成果が見られる内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

内容	設問番号	設問の概要（趣旨）
エネルギー・粒子	2(1)	▲ アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ（身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる）
エネルギー	2(4)	○ 乾電池2個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くできるものを選ぶ（乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いているかどうかをみる）
粒子	4(1)	▲ 水の温まり方について、問題に対するまとめをいうために、調べる必要があることについて書く（水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができかどうかをみる）
粒子・地球	4(2) イウ	○ 水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ（水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる）
粒子	4(3) カ	▲ 海にある氷がとけることについて、水が氷に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ（水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができかどうかをみる）
地球	4(3) キ	○ 水が陸から海へ流れていくことについて、水の行方と関連付けているものを選ぶ（氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解しているかどうかをみる）

【中学校・理科】

○…成果が見られる内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

領域	設問番号	設問の概要（趣旨）
粒子	1(2)	○ 「理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな？」という疑問を解決するための課題を記述する（身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる）
地球	1(3)	▲ 地層1から地層4までの性質から、水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する（露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小中学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる）
粒子	1(5)	▲ 塩素の元素記号を記述する（塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる）
エネルギー	2(1)	▲ 【考察】をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する（【考察】をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できるかどうかをみる）
粒子	5(1)	○ 加熱を伴う実験において、火傷をしたときの適切な応急処置を選択する（加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能が身に付いているかどうかを見る）
粒子	5(2)	▲ 実験の動画と実験結果の図から、どのような化学変化が起きているか判断し、原子や分子のモデルを移動させることで、その化学変化をモデルで表す（化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すことができかどうかをみる）

令和7年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状（結果と課題）」 【児童生徒質問調査】

	番号	【 】…質問内容 ※…結果 *…対策
自己肯定感	児童 56 生徒 56	【自分には、よいところがあると思いますか】 ※「当てはまる」と答えた児童が45.1%、生徒が38.2%で、国と比較すると小学校、中学校で2%程度下回りました。 【先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか】 ※「当てはまる」と答えた児童が52.4%、生徒が45.1%で、国と比較すると小学校で3%程度、中学校で1%程度下回りました。 *児童生徒が自己肯定感を高めるためには、学習や体験を通して成就感と達成感を得ることや教師や仲間からの承認を受けることによって、自己に対する肯定的な気付きが促されることが重要と考えます。そのために自己の役割や存在価値を実感できる集団の中での関わりをもち、児童生徒が「他人の役に立った」「認められた」と感じられるように基盤を作っていきます。
家庭学習	児童 1719 生徒 1719	【学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか】 ※「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」と答えた児童が18.7%、生徒が21.4%で、国と比較すると小学校で6%程度、中学校で9%程度下回りました。 【土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか】 ※「4時間以上」「3時間以上、4時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」と答えた児童が17.1%、生徒が29.1%で、国と比較すると小学校で4%程度、中学校で3%程度下回りました。 *家庭学習時間を確保し、さらに意義のある学習内容にするために、学習する意味やメリットを伝え、「自分のためになる」という必要感をもたせたり、授業と家庭学習を関連させたりするなどの働きかけが必要であると考えます。家庭学習時間の増加や内容の充実が図れるように支援していきます。
表現活動	児童 31 生徒 31	【5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか】 ※「発表していた」と答えた児童が19.7%、生徒が19.0%で、国と比較すると小学校で7%程度下回り、中学校では同程度でした。 *各教科の学習内容を踏まえて、言語活動を充実させることが重要であると考えます。小学校では、「始め、中、終わり」等の話の組立て方を身に付ける練習を行ったり、中学校では、PREP法（結論→理由→例→まとめ）で発表原稿を作る活動を取り入れたりする指導をしていきます。
主体的な学び	児童 32 生徒 32	【5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか】 ※「当てはまる」と答えた児童は21.6%、生徒は25.0%であり、国と比較すると小学校で7%程度下回り、中学校では2%程度上回りました。 *児童生徒が学ぶことに興味や関心を持てるような学習課題を設定したり、学習活動を振り返って次につなげることができるようにしたしるなどの授業改善を行い、児童生徒の主体的な学びを実現していけるように支援していきます。